



流れ星に

まじらわれて









じやあハルちゃん
だねっ!



あー

君は?



一人じゃない
マツコウもいる



自分だって
子供だろ

ハルちゃんは
速いなあ!
子供ののに一人で
するしてるんでしょ?



マコト...
いつまで
サボってるんだ

今行き
まーす!



いいけど...

ラクダと旅なんて
カウコイイなあ!
どんな所に行つたのか
聞かせてよ!



俺はただ水に入れれば
良かっただけなのに

余計な世話を
かけてしまったな

もっ...

それじゃあ
話せて楽しかったよ

ノラくん♪

それ食べ終わったら
荷物まとめて出てつてね
ここ俺らの寝床だからさ

やっぱり
おもしろ
いのだな

朝も

昼も

夜も

それから俺は
マコトに今まで
旅した場所の話をした



僕だったら
怖くて一人で
行けないよ!

もしかしたら
行き止まりかも
知れないんですよ?

凄くと思う
けどなあ

ハルちゃん
すごいなあ!

別に
普通だろ



ハルちゃん
はて
ゆうかんつて
やっだね!

そうか?

マコトは毎の話を
本當に楽しそうに
聞いてくれる



水が溜くまで
いーっつまで
あるんではい
なんだろ!

ハルちゃんまた
大きなオアシスの
お風呂かせて欲しいな!

海の手か?

そうそう
うみ!

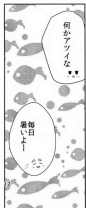
マコトも
楽しんでるれば?





はい
木の葉あげるっ

ハルちゃん
良い物あげるから
手だして



何かアツイな

毎日
暑いよー



ドキドキする
事がある

わたれけきの
くるみ！

最近マコトといると
楽しいだけじゃなくて



……ありがとう

どういたし
まして！



この鎖より
大きいのかな



わっ



うみかあ！



ハルちゃん!!



そんな
どうして急に



こんな時間に
どうしたの？

門限過ぎてるから
外出られないよ

今夜
この街を出る



マコトも街を
出ないか？

他の話なんかじゃなく
自分の目で
確かめてみたく
ないのか？



「見てもみたいけど
やっぱり僕には
出来ないよ」

前に話したけど
街の外の話は
何も知らないし

話聞くだけでも
速く楽しかつたよ

俺は…



見たことのない
景色

マコトの友達として
この街に馴染めるのは
難なんだ



えっ!!

ええっ

一緒に行って
くれるの??

でも僕
ご飯いっぱい
食べるから

迷惑
かけちゃうし





別に決めてない
マコトの好きな
ところに行こう

ふはつ東曲に
御面をやつた

ハルちゃん
これからどこに
いくの？



それじゃあ
空よりもひろい
海に行きたいな！





発行日：2015/08/15

印刷所：STARBOOKS

発行者：ziploc/くま

連絡先：ziploc_kugi@yahoo.co.jp

オークションへの出品を禁ず



Free! Fan book
Presented by Ziploc